

- 実話に基づいたお話で心に響きました。親としてではなく子どもからの視点・意見を聞く事ができ、大変勉強になりました。わが子、学校の子ども、いろいろな顔を思い浮かべながら自分自身に問いかける時間になりました。人と人とのつながりにはまず対話が必要ということを再認識しました。あいさつも大事、ほめることも大事。大人も成長しなければいけませんね。
- 胸が締め付けられるお話でした。私自身も日々の忙しさにかまけて、「あとにして」とか「今忙しいとか」と言ってしまうことがあるので、子どもが話す機会を逃しているかもしれません。これからは、手を止めて、耳を傾けて子育てしていきたいと思います。終始感動でした。子どものための大きな受け皿になりたい。
- とても聞きやすく、わかりやすい講話でした。今の自分の子育てを振り返って考えるよい時間となりました。子どもたちが心に秘めている本音を話したくなるような家庭、地域を作っていかなければいけないと痛感しました。あいさつの大切さについても改めて感じることができました。
- 普段体験できない貴重な世の中の事情を伺い、びっくりしました。あいさつの大切さ、会話の大切さを改めて実感しました。ほめる、しゃべる、抱きしめる、実践していきたいと思います。子どもの話をよく聞いてあげたいです。心にしみる、ためになるお話をありがとうございました。
- 子どもがまん、子どもの考えを、私自身が考える時間になりました。娘がよく死にたい、消えたいと話すので、どう向き合うべきかこれからも考えていきたいです。そして寄り添っていきたいです。
- 素晴らしい講演会でした。いじめが許されないことは誰でも知っていることですが、家田先生の経験を交えたお話を伺い、心から、いじめから子どもたちを守らなければならないと思うことができました。今後、子どもをいじめから守るために自分にできることを見つけて努力していきたいです。
- 日々の忙しさの中で、子どもが話そうとしているのに、「ちょっと待ってね」とさえぎることも多いなと反省しました。余裕を持って子どもたちと向き合える時間を作りたいと思います。何かあったときに話せたり、サインを出ししやすいような家庭を作っていくのが親の役目かなと思いました。まずは家庭、地域からあいさつに取り組んでいこうと思います。
- 不登校気味の中学生の親として、地域の住民としてためになるお話でした。子どもへの接し方を見直そうと思いました。諦めず関わってくれる先生方にも改めて感謝したいと思いました。
- 色々な例のお話を聞いて参考になりました。子どもとの関わりを改めて考えさせられました。反抗期の娘を持った私は、「どうしてうちの子は…」と毎日イライラしています。今日のことを参考に向き合わないといけないなと思いました。
- 子どもが話をしてくれないときは、とても心配になります。母子家庭なのでゆっくり話を聞けません。学校の先生と連絡をとって学校で様子を聞いたりしています（子どもは家ではタブレットばかりです…）。家庭での居場所作りや子どもと一緒に過ごす時間の使い方、会話が大切だと思いました。子どもながらに色々と考え、大人に気を使っていること、親ながら申し訳ない気持ちでいっぱいです。今日は自分を振り返る、今後について改めて考えさせてくれた大変よい講話でした。ありがとうございました。